

2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）



2024年8月9日

上場会社名 東洋合成工業株式会社
コード番号 4970

上場取引所

東

URL <http://www.toyogosei.co.jp/>

代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 木村 有仁

問合せ先責任者（役職名） 経理財務部長（氏名） 篠崎 史朗（TEL） 03-5822-6170

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年3月期第1四半期の業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

（1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	9,216	21.1	1,302	56.0	1,424	73.5	968	75.3
2024年3月期第1四半期	7,611	△17.6	834	△43.1	820	△54.1	552	△55.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	122.04	—
2024年3月期第1四半期	69.61	—

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	60,852	22,666	37.2
2024年3月期	59,517	21,825	36.7

（参考）自己資本 2025年3月期第1四半期 22,666百万円 2024年3月期 21,825百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	20.00	—	20.00	40.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	18,700	24.2	2,050	58.0	2,000	47.6	1,350	47.2	170.09
通期	38,200	19.5	3,600	2.5	3,500	3.1	2,500	4.3	314.99

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

（注）業績予想につきましては、現時点で入手できる情報に基づき可能な範囲で合理的に算定しております。実際の業績等は今後の世界情勢等により異なる可能性があります。修正の必要が生じた場合には速やかに開示いたします。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2025年3月期1Q	8,143,390株	2024年3月期	8,143,390株
2025年3月期1Q	206,564株	2024年3月期	206,564株
2025年3月期1Q	7,936,826株	2024年3月期1Q	7,936,913株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士
又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(表示方法の変更)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(収益認識関係)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期における海外経済は、中国では国内需要の低迷により景気停滞が続きました。一方、欧米ではインフレが落ち着きつつある中で、米国においては強い個人消費に支えられ景気は底堅く推移し、欧州でも個人消費に持ち直しの動きがみられ、景気回復の兆しが見え始めました。

わが国経済は、円安やインバウンド需要を背景に企業業績が好調に推移した結果、緩やかな回復となりました。しかしながら、世界的なインフレ傾向や急激な為替変動など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社事業の主要市場である電子材料業界は、需要低迷によるサプライチェーン上の在庫調整が一段落し、先端半導体向け材料を中心に回復傾向が鮮明となりました。

このような状況のなか、当社は、2023年3月期からスタートした、5ヵ年の中期経営計画「Beyond500」に基づき、今後も需要拡大が期待される半導体市場への供給力強化を推進しております。

当第1四半期においては、先端半導体向け材料を中心に販売が急増したことから、売上高は9,216百万円（前年同期比+1,604百万円、+21.1%）と増加しました。利益面につきましては、売上増加により営業利益は1,302百万円（前年同期比+467百万円、+56.0%）、経常利益は1,424百万円（前年同期比603百万円、+73.5%）、四半期純利益は968百万円（前年同期比+416百万円、+75.3%）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

（感光性材料事業）

半導体向け材料は、先端分野を中心に回復が進み、当社製品の販売も拡大しました。

ディスプレイ向け材料は、中国を中心にパネル生産が一定レベルで保たれたことから、当社製品の販売も堅調に推移しました。

この結果、同事業の売上高は5,285百万円（前年同期比+453百万円、+9.4%）、営業利益は630百万円（前年同期比+56百万円、+9.8%）となりました。

（化成品事業）

電子材料関連製品は、サプライチェーン上の在庫調整が一巡し、先端半導体向けを中心に当社への需要も回復したことから、前年同期比で売上は大幅に増加しました。

香料材料関連製品は、トイレタリー向け香料の需要回復により海外販売が好調に推移したことから、前年同期比では売上が大幅に増加しました。

ロジスティック関連は、基礎化学品の需要の弱さから荷動きの低迷が継続しているものの、旺盛なタンク需要によりタンク契約率は高水準で推移しました。

この結果、同事業の売上高は3,930百万円（前年同期比+1,151百万円、+41.5%）、営業利益は671百万円（前年同期比+411百万円、+158.2%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

財政状態は、前事業年度末対比で次のとおりであります。

当第1四半期会計期間末における総資産は60,852百万円となり、前事業年度末比1,334百万円の増加となりました。

流動資産は23,204百万円で、前事業年度末比521百万円の増加となりました。これは商品及び製品521百万円の増加などによるものであります。

固定資産は37,647百万円で、前事業年度末比812百万円の増加となりました。これは主に取得による増加1,725百万円、減価償却による減少767百万円によるものであります。

流動負債は22,159百万円で、前事業年度末比1,642百万円の増加となりました。これは主に支払手形及び買掛金1,543百万円の増加、短期借入金3,000百万円の増加によるものであります。

固定負債は16,026百万円で、前事業年度末比1,148百万円の減少となりました。これは主に、長期借入金1,175百万円の減少によるものであります。

純資産合計は22,666百万円で、前事業年度末比840百万円の増加となりました。これは主に四半期純利益968百万円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の第2四半期累計期間および通期の業績予想につきましては、2024年5月10日に公表いたしました業績予想から変更しております。詳細につきましては、本日(2024年8月9日)に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,645	3,519
受取手形及び売掛金	7,222	6,977
商品及び製品	7,662	8,184
仕掛品	424	461
原材料及び貯蔵品	2,251	2,330
その他	1,484	1,738
貸倒引当金	△9	△7
流動資産合計	22,682	23,204
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,507	13,491
機械装置及び運搬具（純額）	6,585	6,632
土地	4,912	4,912
建設仮勘定	11,042	8,462
その他（純額）	814	1,232
有形固定資産合計	33,862	34,731
無形固定資産		
その他	1,579	1,650
無形固定資産合計	1,579	1,650
投資その他の資産		
その他	1,393	1,265
投資その他の資産合計	1,393	1,265
固定資産合計	36,834	37,647
資産合計	59,517	60,852
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,009	5,552
短期借入金	2,300	5,300
1年内返済予定の長期借入金	5,297	5,190
設備関係未払金	5,762	3,322
未払法人税等	635	292
賞与引当金	841	376
その他の引当金	50	7
その他	1,620	2,116
流動負債合計	20,516	22,159
固定負債		
長期借入金	14,411	13,236
退職給付引当金	2,025	2,055
役員退職慰労引当金	104	106
その他	633	627
固定負債合計	17,174	16,026
負債合計	37,691	38,185

(単位：百万円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2024年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,618	1,618
資本剰余金	1,541	1,541
利益剰余金	18,567	19,377
自己株式	△92	△92
株主資本合計	21,635	22,444
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	190	221
評価・換算差額等合計	190	221
純資産合計	21,825	22,666
負債純資産合計	59,517	60,852

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)
売上高	7,611	9,216
売上原価	5,757	6,808
売上総利益	1,853	2,408
販売費及び一般管理費	1,019	1,105
営業利益	834	1,302
営業外収益		
受取利息及び配当金	5	6
為替差益	—	134
受取家賃	6	6
補助金収入	0	25
その他	3	3
営業外収益合計	15	176
営業外費用		
支払利息	26	45
為替差損	0	—
その他	2	8
営業外費用合計	29	54
経常利益	820	1,424
特別損失		
固定資産除却損	15	26
特別損失合計	15	26
税引前四半期純利益	804	1,398
法人税、住民税及び事業税	87	271
法人税等調整額	164	158
法人税等合計	252	429
四半期純利益	552	968

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(損益計算書)

前第1四半期累計期間において、独立掲記しておりました「営業外収益」の「受取利息」および「受取配当金」は、重要性が乏しいことから、当第1四半期累計期間より「受取利息及び配当金」として記載することといたしました。この表示方法の変更を反映させるため、前第1四半期累計期間の四半期財務諸表の組替えを行っております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第1四半期累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期損益 計算書計上額 (注)
	感光性材料事業	化成品事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	4,832	2,778	7,611	—	7,611
外部顧客への売上高	4,832	2,778	7,611	—	7,611
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	80	80	△80	—
計	4,832	2,858	7,691	△80	7,611
セグメント利益	574	260	834	—	834

(注) セグメント利益又は損失は四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な事項はありません。

当第1四半期累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期損益 計算書計上額 (注)
	感光性材料事業	化成品事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	5,285	3,930	9,216	—	9,216
外部顧客への売上高	5,285	3,930	9,216	—	9,216
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	91	91	△91	—
計	5,285	4,022	9,307	△91	9,216
セグメント利益	630	671	1,302	—	1,302

(注) セグメント利益又は損失は四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
 重要な事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	719百万円	767百万円

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。